

2-4 生活環境の向上

No.	事務事業名	事業実施課	事業区分	事業概要	財源	概算コスト(単位:千円)				主な活動指標				主な成果指標				一次評価結果	二次評価結果	評価理由
						21年度	22年度	23年度	24年度	指標名	21年度	22年度	23年度	24年度	指標名	21年度	22年度			
1	水質汚濁防止対策事業	環境局 環境保全課	監視・規制	○事業開始年度 昭和49年度 【概要】公共用水域及び地下水の常時監視並びに工場・事業場から公共用水域に排出される排水の監視・指導を行う。 【対象者】事業者及び市民 【具体的な活動内容】 ・公共用水域及び地下水の水質常時監視並びに工場、事業場排水の規制・指導 ・ダイオキシン類の水質・土壌等の基準監視 ・環境基本計画の推進及び河川浄化意識の高揚・啓発	国・県補助	[概算コスト] 36,606 [内訳] (内訳) ・決算額 10,570 ・人件費 26,036 (3.27人)	[概算コスト] 37,508 [内訳] (内訳) ・決算額 11,250 ・人件費 26,258 (3.27人)	[概算コスト] 33,290 [内訳] (内訳) ・決算額 7,382 ・人件費 25,908 (3.27人)	[概算コスト] 38,195 [内訳] (内訳) ・予算額 12,529 ・人件費 25,666 (3.27人)	河川水質保全目標調査地点数 (単位:地点)	[目標値] 20 [実績値] 20 <達成率> 100.0%	[目標値] 20 [実績値] 20 <達成率> 100.0%	[目標値] 20 [実績値] 20 <達成率> 100.0%	[目標値] 20 [実績値] 19 <達成率> 95.0%	[目標値] 20 [実績値] 19 <達成率> 95.0%	[目標値] 20 [実績値] 19 <達成率> 95.0%	A	A	継続 (理由) 公共用水域及び地下水の常時監視や工場、事業場排水の規制・指導は、水質汚濁の防止を図り、市民の生活環境を保全し、市民の健康を保護するため、必要である。	
2	騒音振動防止対策事業	環境局 環境保全課	監視・規制	○事業開始年度 昭和48年度 【概要】騒音・振動の測定並びに特定工場等及び特定建設作業から発生する騒音・振動の規制・指導を行う。 【対象者】事業者及び市民 【具体的な活動内容】 (1)法律・条例に基づく特定工場等の規制・指導 (2)特定工場等及び特定建設作業場の立入検査 (3)自動車騒音・道路交通振動の測定調査 (4)飲食店等深夜営業騒音の監視・指導 (5)市民に対する近隣騒音のための広報・啓発 (6)事業者に対する騒音防止技術の普及活動	市単	[概算コスト] 7,977 [内訳] (内訳) ・決算額 4,792 ・人件費 3,185 (0.40人)	[概算コスト] 7,821 [内訳] (内訳) ・決算額 4,609 ・人件費 3,212 (0.40人)	[概算コスト] 5,943 [内訳] (内訳) ・決算額 2,774 ・人件費 3,169 (0.40人)	[概算コスト] 10,103 [内訳] (内訳) ・予算額 6,963 ・人件費 3,140 (0.40人)	自動車騒音測定地点数 (単位:地点)	[目標値] 8 [実績値] 8 <達成率> 100.0%	[目標値] 8 [実績値] 8 <達成率> 100.0%	[目標値] 8 [実績値] 8 <達成率> 100.0%	[目標値] 8 [実績値] 94 <達成率> 94.0%	[目標値] 100 [実績値] 100 <達成率> 100.0%	[目標値] 100 [実績値] 100 <達成率> 100.0%	A	A	継続 (理由) 騒音・振動の測定並びに特定工場等から発生する騒音・振動の規制・指導等は、市民の生活環境を保全し、市民の健康を保護するため、必要である。	
3	大気保全対策事業	環境局 環境保全課	監視・規制	○事業開始年度 昭和47年度 【概要】大気汚染常時監視を行い大気の状態を把握するとともに、工場及び事業場からの排出ガスや悪臭物質を規制する。 【対象者】事業者及び市民 【具体的な活動内容】 ・大気汚染の常時監視及びばい煙発生施設等の規制・指導 ・有害大気汚染物質の監視・調査 ・ダイオキシン類の大気環境基準監視及び発生源の規制・指導	市単	[概算コスト] 35,845 [内訳] (内訳) ・決算額 23,424 ・人件費 12,421 (1.56人)	[概算コスト] 34,738 [内訳] (内訳) ・決算額 22,211 ・人件費 12,527 (1.56人)	[概算コスト] 33,711 [内訳] (内訳) ・決算額 21,351 ・人件費 12,360 (1.56人)	[概算コスト] 37,141 [内訳] (内訳) ・予算額 24,897 ・人件費 12,244 (1.56人)	大気汚染物質等の環境基準項目数 (単位:項目)	[目標値] 28 [実績値] 28 <達成率> 100.0%	[目標値] 28 [実績値] 28 <達成率> 100.0%	[目標値] 28 [実績値] 28 <達成率> 100.0%	[目標値] 29 [実績値] 21 <達成率> 75.0%	[目標値] 28 [実績値] 22 <達成率> 78.6%	[目標値] 28 [実績値] 14 <達成率> 50.0%	A	A	継続 (理由) 大気汚染の常時監視や工場等からの排出ガス・悪臭物質の規制・指導は、大気汚染防止並びに悪臭防止を図り、市民の生活環境を保全し、市民の健康を保護するため、必要である。	
4	休廃止鉱山鉱害防止事業	経済局 産業支援課	その他	○事業開始年度 昭和63年度 【概要】錫山鉱山跡の大切坑口から流出する坑水の酸性度が高く、溶解性鉄・ひ素等を多く含むため、消石灰投入により中和し、鉄分等を除去したうえで川に放流する。 【対象者】自然環境並びに周辺住民及び下流住民の生活環境 【具体的な活動内容】 ・坑水処理(施設維持管理含む)	国・県補助	[概算コスト] 21,823 [内訳] (内訳) ・決算額 19,992 ・人件費 1,831 (0.23人)	[概算コスト] 21,727 [内訳] (内訳) ・決算額 19,960 ・人件費 1,767 (0.22人)	[概算コスト] 21,814 [内訳] (内訳) ・決算額 19,992 ・人件費 1,822 (0.23人)	[概算コスト] 22,087 [内訳] (内訳) ・予算額 19,968 ・人件費 2,119 (0.27人)	処理水量 (単位:m)	[目標値] 210,114 [実績値] 210,114 <達成率> 100.0%	[目標値] 273,671 [実績値] 273,671 <達成率> 100.0%	[目標値] 202,231 [実績値] 202,231 <達成率> 100.0%	[目標値] 300,000 [実績値] 210,114 <達成率> 70.0%	[目標値] 300,000 [実績値] 210,114 <達成率> 70.0%	[目標値] 300,000 [実績値] 210,114 <達成率> 70.0%	A	A	継続 (理由) 適正な坑水処理は、自然環境並びに周辺・下流住民の生活環境等を保全するため、必要である。	
5	大気汚染常時監視設備整備事業	環境局 環境保全課	監視・規制	○事業開始年度 昭和47年度 【概要】大気汚染常時監視に必要な測定機器の整備(更新)を計画的に行う。 【対象者】市内8測定局に設置してある測定機器が対象となる。 【具体的な活動内容】 平成24年度:風向風速自動測定記録計の更新(鴨池局)	市単	[概算コスト] 4,458 [内訳] (内訳) ・決算額 3,423 ・人件費 1,035 (0.13人)	[概算コスト] 5,155 [内訳] (内訳) ・決算額 4,111 ・人件費 1,044 (0.13人)	[概算コスト] 4,986 [内訳] (内訳) ・決算額 3,956 ・人件費 1,030 (0.13人)	[概算コスト] 8,786 [内訳] (内訳) ・予算額 7,766 ・人件費 1,020 (0.13人)	更新機器等の台数 (単位:台)	[目標値] 2 [実績値] 2 <達成率> 100.0%	[目標値] 2 [実績値] 2 <達成率> 100.0%	[目標値] 3 [実績値] 3 <達成率> 100.0%	[目標値] 4 [実績値] 3 <達成率> 75.0%	[目標値] 4 [実績値] 3 <達成率> 75.0%	[目標値] 4 [実績値] 3 <達成率> 75.0%	A	A	継続 (理由) 大気汚染防止並びに悪臭防止を図るための大気汚染常時監視等を適正に実施するために、定期的な機器の更新は必要である。	
6	美しいまちづくり推進事業	環境局 環境衛生課	啓発・広報	○事業開始年度 平成16年度 【概要】「市民総参加による美しいまちづくり」を推進するために、諸政策を実施する。 【対象者】市民等・事業者 【具体的な活動内容】 ・巡回指導・広報啓発等(嘱託員他) ・美しいまちづくり運動推進協議会による取り組み ・まち美化推進団体・まち美化地域指導員の認定支援 ・路上禁煙地区の整備等	市単	[概算コスト] 24,175 [内訳] (内訳) ・決算額 15,051 ・人件費 9,124 (1.15人)	[概算コスト] 25,531 [内訳] (内訳) ・決算額 16,610 ・人件費 8,921 (1.11人)	[概算コスト] 25,108 [内訳] (内訳) ・決算額 15,822 ・人件費 9,286 (1.17人)	[概算コスト] 24,538 [内訳] (内訳) ・予算額 15,998 ・人件費 8,540 (1.09人)	まち推進団体新規登録数 (単位:団体)	[目標値] 6 [実績値] 6 <達成率> 100.0%	[目標値] 20 [実績値] 19 <達成率> 95.0%	[目標値] 20 [実績値] 18 <達成率> 90.0%	[目標値] 20 [実績値] 78,000 <達成率> 97.5%	[目標値] 80,000 [実績値] 79,139 <達成率> 98.9%	[目標値] 80,000 [実績値] 80,361 <達成率> 100.5%	A	A	継続 (理由) 市・市民等・事業者が一体となった各施策による取り組みは、生活環境の向上を図り、美しいまちづくりを推進する上で必要である。	

2-4 生活環境の向上

No.	事務事業名	事業実施課	事業区分	事業概要	財源	概算コスト(単位:千円)				主な活動指標				主な成果指標				一次評価結果	二次評価結果	評価理由		
						21年度	22年度	23年度	24年度	指標名	21年度	22年度	23年度	24年度	指標名	21年度	22年度				23年度	24年度
7	ポイ捨て多発地区対策事業	環境局 環境衛生課	調査・研究	○事業開始年度 平成21年度 【概要】 ポイ捨てごみ等が多くみられる場所について、該当箇所やごみ傾向等の調査及び清掃を行う。町内会等への調査結果の情報提供等を行い、状況に応じた啓発及びパトロールを実施するなど、ポイ捨て防止を図る。 【具体的な活動内容】 ・ポイ捨て多発地区のごみの傾向調査、清掃 ・町内会への情報提供、取組み促進 ・啓発及びパトロール	国・県補助	[概算コスト] 3,010 (内訳) ・決算額 2,604 ・人件費 406 (0.05人)	[概算コスト] 3,191 (内訳) ・決算額 2,709 ・人件費 482 (0.06人)	[概算コスト] 3,439 (内訳) ・決算額 3,035 ・人件費 404 (0.05人)	[概算コスト] 3,653 (内訳) ・決算額 3,253 ・人件費 400 (0.05人)	調査箇所数(単位:箇所)	[目標値] 264 [実績値] 264 <達成率> 100.0%	[目標値] 263 [実績値] 263 <達成率> 100.0%	[目標値] 158 [実績値] 158 <達成率> 100.0%	[目標値] 174 [実績値] 174 <達成率> 100.0%	改善箇所数(累計)(単位:箇所)	[目標値] 132 [実績値] 182 <達成率> 137.9%	[目標値] 263 [実績値] 287 <達成率> 109.1%	[目標値] 342 [実績値] 330 <達成率> 96.5%	[目標値] 429 [実績値] 429 <達成率> 100.0%	A	G	終了 (理由) ポイ捨て多発地区の調査箇所数が減少するなど一定の効果が見られ、緊急雇用創出事業の目的を達成したことから、県の基金が活用できる24年度で終了するが、ポイ捨て対策については、まち美化を推進するため、美しいまちづくり推進事業の中で充実を図る必要がある。
8	そ族衛生害虫駆除事業	環境局 環境衛生課	その他	○事業開始年度 昭和一年度 【概要】 感染症を予防し、快適な生活環境を確保するため、ネズミ、ゴキブリ、その他衛生害虫について相談や駆除を実施する。 【対象者】 市民 【具体的な活動内容】 ネズミ、ゴキブリ、ユスリカ、その他衛生害虫の相談対応及び駆除業務	市単	[概算コスト] 15,809 (内訳) ・決算額 2,274 ・人件費 13,535 (1.70人)	[概算コスト] 11,381 (内訳) ・決算額 2,066 ・人件費 9,315 (1.16人)	[概算コスト] 14,767 (内訳) ・決算額 3,754 ・人件費 11,013 (1.39人)	[概算コスト] 18,178 (内訳) ・決算額 6,012 ・人件費 12,166 (1.55人)	駆除委託実施回数(単位:回)	[目標値] 43 [実績値] 43 <達成率> 100.0%	[目標値] 44 [実績値] 44 <達成率> 100.0%	[目標値] 61 [実績値] 61 <達成率> 100.0%	[目標値] 70 [実績値] 70 <達成率> 100.0%	快適な生活環境の確保	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	A	A	継続 (理由) そ族衛生害虫の駆除は、感染症を予防し、快適な生活環境を確保するため、必要な事業である。
9	ヤンバルトサカヤステ対策事業	環境局 環境衛生課	その他	○事業開始年度 平成18年度 【概要】 市内20地区(23年度末現在)で息が確認されている不快害虫ヤンバルトサカヤステのまん延防止のため、効果的な駆除等を行う。 【対象者】 ヤンバルトサカヤステ発生地域の一般市民 【具体的な活動内容】 1. 対策事業の実施:市による公共部分の駆除及び広報・啓発 ・専門業者委託による道路、側溝等公共部分の駆除 ・チラシ、市民のひろば等による広報、啓発 2. 地域対策事業の実施:市衛生連へ委託 ・発生地域住民による生息調査及び初期駆除	市単	[概算コスト] 32,092 (内訳) ・決算額 21,264 ・人件費 10,828 (1.36人)	[概算コスト] 37,456 (内訳) ・決算額 20,834 ・人件費 16,622 (2.07人)	[概算コスト] 43,862 (内訳) ・決算額 26,352 ・人件費 17,510 (2.21人)	[概算コスト] 46,287 (内訳) ・決算額 28,391 ・人件費 17,896 (2.28人)	駆除委託実施回数(単位:回)	[目標値] 23 [実績値] 23 <達成率> 100.0%	[目標値] 20 [実績値] 20 <達成率> 100.0%	[目標値] 28 [実績値] 28 <達成率> 100.0%	[目標値] 32 [実績値] 32 <達成率> 100.0%	快適な生活環境の確保	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	A	A	継続 (理由) ヤンバルトサカヤステの駆除は、快適な生活環境を確保するため、必要な事業である。
10	衛生自治団体補助事業	環境局 環境衛生課	その他	○事業開始年度 昭和32年度 【概要】 衛生思想の啓発と普及を図り、ごみ減量運動、そ族衛生害虫駆除、地域の清掃美化活動を行っている衛生自治団体に対して、事業運営資金の助成を行うことで、自主的な活動を促進し、住みよい環境づくりを図る。 【対象者】 鹿児島市衛生組織連合会 【具体的な活動内容】 衛生思想の啓発と普及を図り、ごみ減量運動、そ族衛生害虫駆除、地域の清掃美化活動	市単	[概算コスト] 13,547 (内訳) ・決算額 12,273 ・人件費 1,274 (0.16人)	[概算コスト] 13,258 (内訳) ・決算額 11,973 ・人件費 1,285 (0.16人)	[概算コスト] 13,241 (内訳) ・決算額 11,973 ・人件費 1,268 (0.16人)	[概算コスト] 13,229 (内訳) ・決算額 11,973 ・人件費 1,256 (0.16人)	加入団体数(単位:団体)	[目標値] 827 [実績値] 774 <達成率> 93.6%	[目標値] 826 [実績値] 769 <達成率> 93.1%	[目標値] 801 [実績値] 764 <達成率> 95.4%	[目標値] 801 [実績値] 801 <達成率> 100.0%	加入団体の自主的な活動を促進し、生活環境の向上が図られた。	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	A	A	継続 (理由) 地域の自主的な活動を支援する市衛生連合会への補助は、衛生思想の啓発と普及を図り、地域の住みよい環境づくりを図るため、必要である。
11	環境衛生功労者表彰事業	環境局 環境衛生課	その他	○事業開始年度 昭和33年度 【概要】 鹿児島市、鹿児島市衛生組織連合会の共催により、環境衛生改善活動や清掃美化活動等に功績があった地区組織の指導者、個人、団体又はグループ等を環境衛生功労者として表彰する。 【対象者】 ・鹿児島市衛生組織連合会の会員 ・鹿児島市認定のまち美化推進団体 【具体的な活動内容】 鹿児島市環境衛生大会を開催し、表彰式を行う。	市単	[概算コスト] 1,207 (内訳) ・決算額 331 ・人件費 876 (0.11人)	[概算コスト] 1,207 (内訳) ・決算額 324 ・人件費 883 (0.11人)	[概算コスト] 1,169 (内訳) ・決算額 297 ・人件費 872 (0.11人)	[概算コスト] 1,310 (内訳) ・決算額 447 ・人件費 863 (0.11人)	表彰者数(単位:人)	[目標値] 91 [実績値] 91 <達成率> 100.0%	[目標値] 81 [実績値] 81 <達成率> 100.0%	[目標値] 80 [実績値] 80 <達成率> 100.0%	[目標値] 122 [実績値] 122 <達成率> 100.0%	地域の環境衛生やまち美化意識の意欲向上に資した。	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	A	A	継続 (理由) ※外部評価報告書参照
12	飼い主等への適正飼養・適正管理の啓発・広報	健康福祉局 生活衛生課	啓発・広報	○事業開始年度 昭和25年度 【概要】 狂犬病予防注射や放飼禁止等、犬の適正管理について飼養者啓発を行うとともに、野犬や放飼犬の捕獲等を実施することにより、狂犬病や咬傷事故等の発生の防止を図る。 【対象者】 犬の飼養者 【具体的な活動内容】 ・犬の適正管理の啓発指導 ・犬の登録、狂犬病予防注射の実施 ・野犬や放飼犬の捕獲等	国・県補助	[概算コスト] 74,499 (内訳) ・決算額 58,097 ・人件費 16,402 (2.06人)	[概算コスト] 72,311 (内訳) ・決算額 55,769 ・人件費 16,542 (2.06人)	[概算コスト] 72,305 (内訳) ・決算額 55,984 ・人件費 16,321 (2.06人)	[概算コスト] 72,148 (内訳) ・決算額 55,979 ・人件費 16,169 (2.06人)	啓発文書の作成、配布(単位:件)	[目標値] 34,000 [実績値] 33,999 <達成率> 100.0%	[目標値] 34,000 [実績値] 34,227 <達成率> 100.7%	[目標値] 50,000 [実績値] 50,755 <達成率> 101.5%	[目標値] 50,000 [実績値] 50,000 <達成率> 100.0%	狂犬病予防注射接種率(単位:%)	[目標値] 74.8 [実績値] 71.5 <達成率> 95.6%	[目標値] 74.3 [実績値] 72.9 <達成率> 98.1%	[目標値] 73.2 [実績値] 72.5 <達成率> 99.0%	[目標値] 73.2 [実績値] 73.2 <達成率> 100.0%	A	A	継続 (理由) 犬による人への危害発生防止や公衆衛生の向上のため、狂犬病予防注射や放飼の禁止等の啓発は必要である。

2-4 生活環境の向上

No.	事務事業名	事業実施課	事業区分	事業概要	財源	概算コスト(単位:千円)				主な活動指標				主な成果指標				一次評価結果	二次評価結果	評価理由		
						21年度	22年度	23年度	24年度	指標名	21年度	22年度	23年度	24年度	指標名	21年度	22年度				23年度	24年度
13	市営墓地施設改良事業	環境局 環境衛生課	施設維持・管理	○事業開始年度 平成元年度 【概要】市営墓地(18箇所)の法面、参道、側溝等の改良及びトイレ、給水栓の設置を年次的に行い、墓参者の安全確保及び利便性の向上を図る。 【対象者】市営墓地利用者 【具体的な活動内容】年次計画に基づく、法面・参道・側溝整備及び防護柵設置等	市単	[概算コスト] 89,304 (内訳) ・決算額 83,810 ・人件費 5,494 (0.69人)	[概算コスト] 74,406 (内訳) ・決算額 69,026 ・人件費 5,380 (0.67人)	[概算コスト] 48,988 (内訳) ・決算額 43,838 ・人件費 5,150 (0.65人)	[概算コスト] 54,323 (内訳) ・予算額 49,300 ・人件費 5,023 (0.64人)	改良を行った墓地 (単位:箇所)	[目標値] 9 [実績値] 9 <達成率> 100.0%	[目標値] 7 [実績値] 7 <達成率> 100.0%	[目標値] 7 [実績値] 6 <達成率> 85.7%	[目標値] 4	墓参者の安全確保及び利便性の向上が図られた。	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	A	A	継続 (理由) ※外部評価報告書参照
14	市営墓地環境整備事業	環境局 環境衛生課	施設維持・管理	○事業開始年度 平成10年度 【概要】管理の行き届かない墓地区画等の整理を行い、空きスペースを利用し、参道等の整備や休憩施設、公衆便所を設置する等、墓参者の利便性向上を図る。 【対象者】市営墓地利用者 【具体的な活動内容】管理の行き届かない墓地区画の利用者に対する立札設置及び官報広告等。墓地利用者からの申し出に対し、管理改善等の指導。改葬及び墓石撤去など。	国・県補助	[概算コスト] 26,232 (内訳) ・決算額 16,359 ・人件費 9,873 (1.24人)	[概算コスト] 66,180 (内訳) ・決算額 53,573 ・人件費 12,607 (1.57人)	[概算コスト] 62,059 (内訳) ・決算額 51,680 ・人件費 10,379 (1.31人)	[概算コスト] 59,687 (内訳) ・予算額 50,033 ・人件費 9,654 (1.23人)	立札設置または墓石撤去の市営墓地数 (単位:墓地数)	[目標値] 10 [実績値] 10 <達成率> 100.0%	[目標値] 14 [実績値] 14 <達成率> 100.0%	[目標値] 13 [実績値] 13 <達成率> 100.0%	[目標値] 7	墓石撤去区画数 (単位:区画数)	[目標値] 0 [実績値] 0 <達成率> -	[目標値] 182 [実績値] 182 <達成率> 100.0%	[目標値] 210 [実績値] 210 <達成率> 100.0%	[目標値] 231	A	A	継続 (理由) ※外部評価報告書参照
15	共同墓地助成事業	環境局 環境衛生課	助成・育成	○事業開始年度 昭和58年度 【概要】共同墓地管理組合が実施する共同墓地の整備統合、環境整備、災害復旧事業に対し助成するもの。 【対象者】墓地管理組合 【具体的な活動内容】 ・整備統合に係る改葬のために行う工事に要する経費 改葬許可1件ごとに2,000円 ・環境整備のために行う工事に要する経費 2分の1以内 ・災害防止のために行う工事に要する経費 3分の2以内 ・災害復旧に要する経費(現年対応分) 3分の2以内 ・給水栓設置工事(市設置後引き渡し)	市単	[概算コスト] 13,362 (内訳) ・決算額 9,859 ・人件費 3,503 (0.44人)	[概算コスト] 13,345 (内訳) ・決算額 9,089 ・人件費 4,256 (0.53人)	[概算コスト] 15,013 (内訳) ・決算額 10,814 ・人件費 4,199 (0.53人)	[概算コスト] 8,017 (内訳) ・予算額 4,877 ・人件費 3,140 (0.40人)	補助件数 (単位:件)	[目標値] 9 [実績値] 9 <達成率> 100.0%	[目標値] 11 [実績値] 11 <達成率> 100.0%	[目標値] 11 [実績値] 11 <達成率> 100.0%	[目標値] 9	使用者の負担軽減を図り、共同墓地の環境整備の促進が図られた。	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	A	A	継続 (理由) 共同墓地の環境整備、災害防止及び災害復旧事業の助成を行うことにより、墓地使用者の負担を軽減し、墓地の環境整備等を促進するとともに使用者の環境整備についての意識の高揚を図るために必要である。
16	斎場施設整備事業	環境局 環境衛生課	施設維持・管理	○事業開始年度 平成10年度 【概要】北部斎場及び南部斎場の施設の改修・整備 【対象】火葬炉(北部斎場12炉、南部斎場8炉) 【具体的な活動内容】 ・北部斎場及び南部斎場の火葬炉設備の更新 ・北部斎場及び南部斎場の建物及び施設の改修 【協議機関】市立斎場火葬炉改修工事検討委員会(H22.3設置) 【経緯等】 H21 火葬炉改修先進地調査 H22 南部斎場火葬炉改修計画策定 H23 南部斎場火葬炉改修工事(~27年度) H24 北部斎場火葬炉改修計画策定(予定) H25 北部斎場火葬炉改修工事(~30年度)	市単	[概算コスト] 62,153 (内訳) ・決算額 60,481 ・人件費 1,672 (0.21人)	[概算コスト] 11,140 (内訳) ・決算額 9,213 ・人件費 1,927 (0.24人)	[概算コスト] 78,572 (内訳) ・決算額 75,957 ・人件費 2,615 (0.33人)	[概算コスト] 112,860 (内訳) ・予算額 109,877 ・人件費 2,983 (0.38人)	改修炉数 (単位:炉)	[目標値] 0 [実績値] 0 <達成率>	[目標値] 0 [実績値] 0 <達成率>	[目標値] 1 [実績値] 1 <達成率> 100.0%	[目標値] 2	柩の大型化への対応や火葬能力の向上により、良好な火葬環境の向上が図られた。	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	A	A	継続 (理由) 継続的で安全な火葬の実施を図るため、計画的な火葬炉の整備は必要である。